

# 委員長会議#2

開催：2018/04/22@京都工芸繊維大学

## [ 獲得目標 ]

- ・ 学生委員会を引っ張る存在としての素養を身に付け行動につなげる！
- ・ 自己分析をし、過去と未来に視点を広げ、自身のビジョンを描く！
- ・ テーマセッションを通して、新メンバーが増えることに対応できるようになる！

## [ 委員長会議 # 2 の特徴 ]

○ 3 回生と新執行代が共に集まる会議！

先輩



後輩

委員長会議 # 2 ではこの特徴を活かして、先輩と後輩の交流によって双方だけでは得られない質の高い学びを目指します。後輩にとっては先輩の経験や、アドバイスが大きな手助けとなります。

今回は全13会員から、3回生25名、2回生33名の計58名が参加しました。

## 01 委員長会議#1を受けての時間 「総(代)会について」

総(代)会后を考える、総(代)会を一年間で考える

委員長会議 # 1 で学んだことをベースに振り返りをしながら、総(代)会や総代について学びました。総代は日常的に関わる存在であり、総代会を軸とした年間を通した総代(組合員)活動が重要です。事例紹介やワークを通して自大学の現状を振り返り、今後の総代会について自分たちができることを考えることができました。



- ・ 他大学の総代会に行ってみたくなくなった(京都府立②)
- ・ 総代会のモチベが上がりました(京工織②)

## 02 委員長会議#1を受けての時間 「引継ぎについて」

先輩と後輩で「引継ぎ」を振り返り

委員長会議 # 1 では主に3回生に引継ぎにおいて意識してほしい点を提起し、計画を立てました。今回はその内容を振り返りながら、先輩と後輩で引継ぎできている点、これから引継ぎする点を双方の交流を踏まえながら確認しました。引継ぎはする側と受ける側の視点や、「何をだれがだれにいつ」が重要です。



- ・ 引継ぎ方を見直すことができた(滋賀大津③)
- ・ 引継ぎで何が足りていないかを確認することができた(橘②)

## 03 ビジョンを描く時間 「過去と未来を考えよう」

自分の特徴から自分と組織の関係を考える

16タイプ性格診断を用いた自己分析をもとに、ワークシートを用いて自分と組織の関係から過去と未来を考えました。過去においては自分のどのような特徴を活かして組織でなにをできたかを考えました。また、未来では自分の特徴をどのように活かしたいかを考えました。先輩のサポートを受けながら、ビジョンを描くことができました。



- ・ 自己分析から、ゴールを見据えられたのは大きいと思った(立命館BKC②)
- ・ 不安を共に考えることができた(滋賀県立③)

# 04 ビジョンを描く時間 「SEQの紹介」

## 行動は気を付ければ変えられる

学生委員会という組織の中でそれぞれが役割を發揮するためのツールとしてSEQの紹介をしました。SEQは自分の感情をマネジメントするためのツールです。心の強みと弱みがわかり、今後の行動を変える成長への手がかりを教えてください。当日は実際にSEQを合宿で活用した滋賀県立大学の学生委員たちがその感想や成果を共有しました。



・自分を見直すきっかけになった。みんなで共有していきたい(立命館衣笠②)

# 05 テーマセッションの時間

## 経験をもとに主体的に解決策を考える

4月に入り新メンバーが増えることで、多くの上回生は不安を抱えている現状にあります。そこで、テーマセッションとして想定されるテーマを取り上げ、他大学のメンバーや先輩と話し合うことで解決策を考えました。当日はテーマセッションのテーマの一部を学生委員から募集しました。テーマは以下の5つとし、9つの班に分かれて事務局がグループリーダーとなり議論を行いました。

- ・新メンバーに意欲的に来てもらうためには？
- ・新メンバーに役割を發揮してもらうためには？
- ・新メンバーに生協への理解を深めてもらうためには？
- ・新メンバーに連帯での学びを共有するためには？
- ・新メンバーの集め方(学生委員会の魅力をどう伝えるか)

議論では、大学それぞれの背景にある現状分析をもとに解決策を模索しました。その中で2回生は先輩方の経験による貴重な話や、他大学の取り組みから自大学に活かせるヒントを得ました。また、最後に各班で得られた解決策について共有発表の時間があり、メモを各自で取ることで、すべてのテーマについて学びを得ることができました。



・今の悩みが解消されてよかった(龍谷②)  
・上級生としてどうあるべきか改めて考え直すことができた(京田辺③)

### [3回生として委員長会議に参加しての感想]

- ・引継ぎやアドバイスを頑張ろうと思った(今出川)
- ・後輩としっかり現状を見直すよい機会だった(大津)
- ・2代いると、普段言えない意見を言い合って、それをスムーズに解決できたと思う(滋賀県立)

### [先輩と共に委員長会議に参加しての感想]

- ・初めてのエリアの委員長会議でも、先輩がいたから心強かったです。1年間私たちより多くの経験をしている先輩の意見はすごくタメになりました(奈良県立)



## +A 委員長会議#2 全体総括

### 先輩と後輩、共に集まったからこそできたこと

委員長会議#2では学生委員それぞれが自分自身を振り返り、先輩のサポートを受けながら頭を整理していくような会議をめざしました。

当日の様子も先輩と後輩で話し合いながらワークを進める様子がありました。「自大学」について深く考えるからこそ学べること、連帯の場で「他大学」のことを広く知れるから学べること、この両方の学びを得ることができた委員長会議になったのではないのでしょうか。アンケートからも満足度の高い会議であったことがわかりました。

新執行代での活動はこれからです。学生委員会をリードしていくメンバーとして今回の委員長会議で学んだことを自大学に持ち帰り、仲間のサポートに活かしていくことを期待します。そして、3回生のメンバーは先輩として今後も積極的に活動に関わってほしいと思います。



京滋・奈良エリア  
学生事務局  
【下出 大貴】



次回の委員長会議#3は6/16です!

委員長会議#3は新執行代としてはじめての委員長会議です! 詳細は未定ですが、ぜひご参加ください☆